

——いのちあるものの姿を求めて——



竹原市
新庁舎移転記念展

竹原市
ゆかりの
陶藝家

今井政之

会期：令和7年8月7日(木)～20日(水)【会期中無休】

会場：竹原市役所 1階 多目的ホール 広島県竹原市中央五丁目6番28号

開館時間：9:00～16:00 (入館は15:30まで)

観覧料：無料

◆主催：竹原市・竹原市教育委員会 ◆後援：中国新聞社

問い合わせ：竹原市教育委員会 文化生涯学習課 TEL.0846-22-2328

作品：今井政之《象嵌彩窯変 悠久の貌 大皿》2005年



広島県の陶藝家として初めて文化勲章を受章した今井政之は、昭和5(1930)年に生まれ、父の故郷である竹原市に疎開しました。少年時代を瀬戸内海に面した自然豊かな場所で過ごし、戦時勤労学徒動員生として三井金属竹原製煉所へ配属され、釉薬の基本となる金属について学びます。陶藝の道を進むことを決意した今井は、その後岡山の備前、京都で研鑽を重ねていきます。

そして今井は自身の代表的な技法である、素地に文様を彫り込み、広い面に色土を^は嵌め込んでいく^{めんぞうがん}「面象嵌」の作品を多く制作します。昭和53(1978)年には竹原市に「竹原豊山窯」を築き、ますます陶藝にかける情熱と探求心を深めていくこととなります。

本展では、魚や蟹、植物など少年時代に親しんだ竹原の自然のモチーフが表現された「面象嵌」の大皿を紹介します。さらに自然の大地に苔むすような味わいのある「苔泥彩^{たいでいさい}」、白い半透明な釉薬のなかに繊細な文様が浮かび上がる「志野象嵌^{しのぞうがん}」、晩年に取り組んだ白い素材に面象嵌を施す「白砂瓷^{はくさじ}」など、今井が挑戦を重ねてきた様々な技法による作品30点を展示します。海の生き物や鳥など、いのちあるものの姿を丁寧に観察して追求し、独自の技法で昇華させた作品をどうぞご覧ください。



①



②

関連イベント

オープニングセレモニー

日時：令和7年8月7日(木) 8:40~9:30

会場：竹原市役所1階 多目的ホール

開催を記念し、オープニング式典と担当学芸員による作品解説をいたします。

今井政之作品

- ① 《象嵌彩窯変魚蟹文 大皿》
2013年
- ② 《白砂瓷紋殻皮剥 飾皿》
2021年
- ③ 《象嵌志野蟹 花器》
制作年不詳
- ④ 《苔泥彩魚文 大壺》
1971年



③



④

今井政之×VMGカフェ

今井政之の器で楽しむ喫茶

本展にあわせ、旧森川家住宅でも今井政之の作品(2点)を展示します。

期間中は、今井政之の器に合わせたメニューを数量限定でご用意。

美しい庭園と器との調和の中、ゆったりとしたティータイムをお過ごしください。

日 時：令和7年8月1日(金)~8月31日(日)
11:00~16:00(入館は15:30まで)

会 場：旧森川家住宅
広島県竹原市中央三丁目16-33

入館料：300円(カフェ利用者は150円)
※別途、飲食代が必要です。

申 込：不要



アクセス 電 車：JR呉線 竹原駅より徒歩約10分

自動車：山陽自動車道河内インターチェンジから約20分

※お車でご来館の際は、市役所前南側駐車場、第2駐車場をご利用ください。

※市役所から旧森川家住宅までは徒歩約10分です。